

科目名	Aesthetics English II			Subject	Aesthetics English II			
サブタイトル	Aesthetics English II、「実践英語」を実社会で使用される状況に合わせて学び、練習し、応用する科目です。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	○	◎	○	○		
教員名	ELEC			メールアドレス	yca-elec.001@・・・			
教員の略歴	国内の英語学校や中等、高等教育機関にて英語講師として従事し、日本人学習者への英語教授経験があり。ELEC 所属の英語講師として、多数の教育機関や企業などで様々なレベルの英語授業を担当する他、カリキュラムや教材の作成も担当。							
実践的教育	×							
オフィスアワー	授業の前後 3 0 分に直接声をかけてください。							

科目の概要																	
実社会で仕事をする中で英語を使用する際に役立つ『実践英語』を、正確に、また使用される状況に合わせて的確に、わかりやすく使えるようになること目指す。そのために必要な英語句や表現を、使用される状況に合わせて学ぶ。また、多様な協働学習を通して、英語を使う楽しみや、履修後も継続的に英語を学ぶスキルを身につけることができる科目である。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		あり		あり		-							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP2		学生は、自身およびグループにてプレゼンテーション・テーマについて調査、研修し、準備することができる															
DP1		学生は、実例を通してビジネスの概念や言葉に触れ、理解、応用することができる															
DP3		学生は、実社会でのビジネスを模したケース・スタディの諸問題だけではなく、グループ・プレゼンテーションを準備、計画する中で発生する問題にも対応することができる															
DP4		学生は、教科書テーマに沿った内容やプレゼンテーションの内容に関連したタスクにグループで取り組む中で、協働学習をすることができる															
教科書・教材																	
教科書		Business Result Elementary (2nd ed.)：Grant, Hughes, Leeke and Turner (Oxford University Press, 2017)															
参考文献		なし															
各自準備教材		授業初日に指示															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
30%		-		10%		10%		-		30%		-		20%		-	
生成 AI のみを使って作成されたスクリプトや視覚教材は、評価の対象になりません。 なお、出席数の不足や不正行為があった場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
定期試験の要点について授業内で解説を行います。ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。																	
履修上の条件・注意																	
授業内統一ルールは授業初日のオリエンテーションにて説明します。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 回	Orientation / Unit 5: Working with words	(DP1, DP2) ビジネスの文書に関連する語彙を理解し、使用することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 94	30 分
第 2 回	Unit 5: Language at work	(DP1, DP2) be 動詞と規則動詞の過去単現を使い、仕事に関連した状況について話すことができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 95	30 分
第 3 回	Unit 5: Business communication	(DP1, DP2, DP3) ビジネス関連の会話から問題解決に関する具体的な情報を聞き取り、need to や will、新出語句を用いて問題について話し合い、解決策を提案することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 94	30 分
第 4 回	Unit 5: Talking point / Project Introduction	(DP1, DP2, DP3, DP4) 職場における「英語のみ」のポリシーの利点と欠点について話し合うことができる。また、ブレインストーミングを行い、プレゼンテーションのアイデアをまとめることができる。	選んだプレゼン・トピックについて調査（リサーチ）をする	90 分
第 5 回	Project Lesson 1: Presentation Introduction, Review	(DP1, DP2, DP3, DP4) 前期で学んだプレゼンテーションのスキルを想起し、応用することができる。	既 習 事 項 を 応 用 し て、 プ レ ゼ ン 導 入 部 分 (Introduction) の下書きをする	60 分
第 6 回	Project Lesson 2: Dealing with Questions	(DP1, DP2, DP3, DP4) プレゼンテーションに関する質疑応答をすることができる。	予想される質問をリストアップし、それに対する可能な回答を作成する。	50 分
第 7 回	Unit 5: Review / Presentation Script Check、Quiz 1	(DP1, DP2, DP3) 既習事項を復習し、応用することができる。プレゼンテーション原稿のフィードバックを受け、改善するための修正をすることができる。	スクリプトのフィードバックをもとに、プレゼンのスクリプトを修正する	60 分
第 8 回	Project Lesson 3: Body Language and Gestures	(DP1, DP2, DP4) プレゼンテーションの際に、適切な身振りやジェスチャーを使うことができる。スクリプトの推敲等、より良いプレゼンテーションに向けて改善することができる。	学修したプレゼン・スキルを復習し、自身のプレゼンに含める。プレゼンテーションの結論 (conclusion) の下書きをする	75 分
第 9 回	Unit 6: Working with words	(DP1, DP2) ソーシャルメディアやネットワーキングに関連する語彙を理解し、使用することができる。ソーシャルメディアを使って仕事を得るための具体的な情報を聞き取ることができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 96	30 分
第 10 回	Unit 6: Language at work	(DP1, DP2, DP4) 規則動詞や不規則動詞、時間を表す表現を適切に用いて、過去について話すことができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 97	30 分
第 11 回	Unit 6: Business communication	(DP1, DP2) ビジネス関連の入門的な会話から具体的な情報を聞き取ることができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 96	30 分
第 12 回	Project Lesson 4: Pronunciation and Intonation	(DP1, DP2, DP4) プレゼンテーション中に、文のストレスやイントネーションを効果的に使うことができる。	プレゼンのキューカードづくりを完成させる。プレゼン発表時に予想される質問を考え、回答を準備する。	50 分
第 13 回	Unit 6: Talking point / Presentation Final Practice	(DP1, DP2, DP3, DP4) ネットワークに関する単元の目標言語を理解し、応用することができる。プレゼンテーションをより流暢に発表することができる。	プレゼン練習でもらったフィードバックを取り入れて、修正する。最終プレゼンテーション発表の練習をする。	75 分
第 14 回	Project Lesson 5: Presentation Day、Quiz 2	(DP1, DP2) プレゼンテーションを自信をもって行い、聴衆からの質問に答えることができる。	プレゼンテーションの振り返りを行う	30 分
第 15 回	Unit 4: Review	(DP1, DP2, DP3, DP4) 期末試験に向けて、ユニット 6 から復習すべき重要な内容を確認するし、練習、応用することができる。	学期中に学修した第 5 章、6 章の既習内容を復習し、試験の準備をする	130 分